

第1号議案

2019年度事業報告書〈特定非営利活動に係る事業〉

(2019年4月1日～2020年3月31日)

特定非営利活動法人ずし楽習塾推進の会

1. 2019年度事業の特色及び内容

- 今年度は何といたっても年度末近くなつての新コロナウイルスによる感染防止・自粛の影響をもろに受け種々の対策を講じざるを得なかった事に尽きます。
先ず2/22(土)のⅣ型講座は中止となり、談話サロンも2月・3月は中止となりました。
3月1日以降の交流センター休館によって理事会はやむを得ずメール交換による開催としました。未だ先が見えず2020年度も気がかりな状況です。
- 昨年度に続き(株)パブリックサービス(以後PSと略す)が指定管理業者として逗子市より交流センター全般の運営を委託され、市の生涯学習事業の中の「ずし楽習塾講座」は今年度もPSからの再委託となりました。PSとの定期交換会は引き続き継続し講座全般についての問題を調整し解決してきました。
- 今年度もⅠ型からⅣ型までの全講座で受講生から受講料(or 資料代)を徴収し、当会の運営に寄与しました。
- 消耗品(印刷用紙・インク)の費用がかなり大きくなってきたので一気に削減すべく、理事会の紙資料の配布を全て止めてOHP(オーバーヘッドプロジェクター)使ったペーパーレス会議に変更しました。
- 今年度も市の広報誌「広報ずし」に掲載される当会の募集記事に割かれるスペースが少ないためホームページへのアップを早めたり、ロビー展示の回数も増やすなどして集客に努めましたが、成果は上がったと思います。

(1) PSから(逗子市関連)の生涯学習に係る受託事業

(a) 講座開設総数

Ⅰ型(市民講師講座)：18講座、Ⅱ型(市民グループ等企画講座)：2講座、Ⅲ型(プロジェクト企画講座)：2講座、Ⅳ型(協働企画講座)：1講座の合計23講座でした。従前からの累積講座総数は455講座となりました。(2018年度までの累積総数は432講座でした。)

(b) 講座受講者総数は2019年度の受講者総数は1,857人でした。

(c) 各講座毎に見ると

- ① Ⅰ型講座では講師の公募を「広報ずし」に頼るだけでなく、メール等でも案内し全体の計画を1ヶ月早める事に成功しました。企画書の提出は27人でしたが、受講生募集の結果必要最少人数(6人)が確保できない講座もあり、開講が決定した講座は19講座でした。そのうち1講座(異文化理解サロン)は講師の急な都合で中止となり結局18講座の開講となりました。7月3日からスタートし12月14日には全ての講座が終了しました。今回は新しい講座が多く『美術史—東洋の光、西洋の水』『初めての東洋医学』『基礎からの情報セキュリティ』『地球温暖化について考える』等がありました。

- ②II型は今年度も“福祉・子育て支援等の活動グループと市民”に対象を絞って応募者を募り、次の2グループからの応募を理事会で審議し決定しました。
1. [やまばとの会]の『録音ボランティア養成講座』(延133人参加)
近年中途失明者が増え、点字は覚えるのが難しいため文字情報を音声化する事が求められているそうです。9人が新たに入会されました。
 2. 「葉山・逗子 地域医療を考える会」の『在宅医療を知ろう』(延300人参加)
地元逗子では在宅医療への関心が高く定員を上回る大勢の人が参加されました。実績のある野村先生が丁寧に話されたことも有り満足度はたかいものでした。

③III-1型(企画型テーマ講座)

『さらば平成ー世界と日本の30年を振り返って未来を考えるー』

第1回「激動の世界」ーベルリンの崩壊からトランプまでー

第2回「一带一路を目指す中国」ー天安門事件をどう乗り越えたかー

第3回「“経済大国”日本」ー失われた30年を振り返るー

第4回「皇室の30年」ー天皇の御代替わりとその後の皇室ー

平成から令和に変わるこの時に平成の30年間を振り返り、今後の日本を取り巻く未来を考えてみようとのテーマで4人の講師にお願いしました。

講座により多少のバラツキは有りましたが各回とも40数人(最高61人)参加され、延べ人数では205人になりました。

④III-2型(女性力アップ講座)

『私の夫はマサイ戦士』ーケニアとのであい、その生き方ー

ケニアに魅せられて23年、積極的かつユニークな経験を重ね全く異なる文化を持つマサイ族戦士の第2夫人となった講師がアフリカの知らぜらる文化、アフリカ一般女性の生活実像を明快に楽しくお話しされました。(参加者76人)

⑤IV型(協働企画講座)ー『食材探訪』ーをテーマに開催

1. 『スペインの食文化を学ぶ』

ー魅惑の国スペインのお話と美味しいスペインワインを試飲ー

オリンピックに向けて逗子市とスペイン王立セーリング連盟が協定締結し、ホストタウンに指定されたのを記念してこの講座を開催しました。

まず冒頭市長にご挨拶頂き、スペイン紹介の話の後、スペイン産のワイン4種類とイベリコ豚ハム・チーズ等を試飲試食しました。(参加者88人)

2. 『みんな知らない“たまご”の話』(2/22(土))は新型コロナウイルス感染拡大の状況下定員60人を超える申し込みが有りましたが中止になりました。

(2) 自主事業

(a) 『談話サロン』

本年度(2019年4月～2020年1月)も1月までは毎月開催しましたが、2月・3月は急遽中止になりました。毎月20数名の参加(年間延参加者は291人)本年10月には特別卓話として『全盲女性マッサージ師南相馬をいく』—被災地ボランティアの8年—をテーマに東日本大震災後被災地の南相馬地方を中心にボランティアとして活発な活動をされている講師にお話しして頂きました。

(b)生涯学習に関する調査・研究・情報提供事業

・会報の編集・発行・配布

年2回の発行を予定している会報「ずし楽習塾だより」では、まず会員募集を狙いに春季号(No27号)ではI型・II型・談話サロンを、秋号(No28号)ではIII型・IV型の紹介記事を掲載しました。

・情報提供事業

各講座の進捗、広報活動(ホームページ、展示等)の状況を一覧表に整理し、理事会に報告し、併せてPSへの情報提供にも役立てました。

- * 以上の通り年度末のコロナ騒動を除き、全般の事業活動を遅滞なく無事終了でき成果を挙げ得たのは当会会員の献身的なボランティア活動と共に、関係各位のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

2019年度ずし楽習塾講座(主要総括表)

講座名	市民講師 企画講座 (I型)	市民グループ 等企画講座 (II型)	プロジェクト チーム企画講座 (III型)	協働企画講座 (IV型)	談話サロン	合計
開設講座数	18講座	2講座	2講座	1講座		23講座
開設講座回数	77回	12回	5回	1回		95回
実施時期	自2019/7 ～ 至2019/12	自2019/9 ～ 至2020/2	自2019/5 ～ 至2019/12	自2019/8 ～ 至2019/8	自2019/4 ～ 至2020/1	
	市民交流 センター	市民交流 センター	市民交流 センター	市民交流 センター	桜逗会館	
受講者数	181人	122人	281人	89人	291人	964人
受講者延数	763人	433人	281人	89人	291人	1857人

◎ I・II・III・IV型講座の受講者数に、当会会員・市民委員を参入していません。